

植生の保全回復に係るノヤギ対策

平成28年12月22日
東京都小笠原支庁

資料3-4

事業背景と概要

・ノヤギの摂食・踏圧等による「在来植生衰退」、「希少種への悪影響」

⇒ノヤギ排除に伴い抑制されていた外来植物の繁茂を確認。

・暫定的に昨年度より、一定程度捕獲圧を下げて排除作業実施。

＜平成28年度＞

・ノヤギ排除作業に伴う自然環境モニタリング

・ノヤギ排除作業：銃器⇒15日間程度実施

首くり罠⇒11月～2月に実施

⇒現在、35頭排除(平成28年12月15日時点)

・ノヤギ摂食試験：ノヤギがどのくらい外来植物を食べるのか計測。

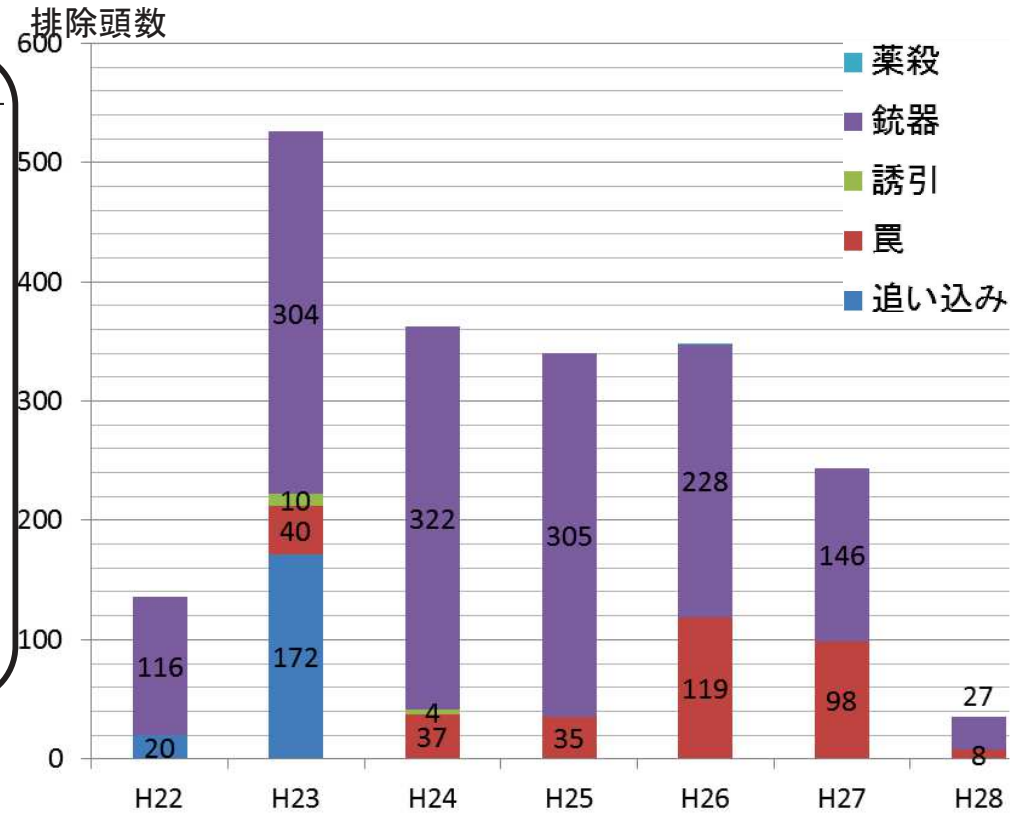


図 ノヤギ排除数(東京都事業のみ集計、H28年12月15日時点)

ノヤギ根絶後の植生の変化

排除前(1997年4月)



根絶後9年(2008年9月)

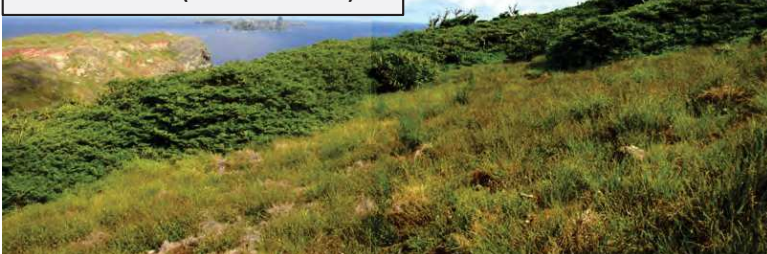


図 ノヤギ根絶前後の植生の回復例(媒島の例)



図 摂食試験調査区



図 ギンネムを食べるノヤギ